



町の人口	
(昭和56年5月31日現在)	
前月比較	
男	3,936 (-18)
女	4,204 (+4)
計	8,140 (+15)
世帯数	2,631 (+11)

同和問題啓発月間特集号

同和問題啓発強調月間

福岡県下いっせいに実施

七月一日～三十一日

同和問題の早急な解決は、行政の責務であると同時に国民的課題であります。県及び市町村は、同和对策審議会答申の精神、及び同和对策事業特別措置法の趣旨に基づき、対象地域住民の社会的経済的地位の向上を不当に阻む諸要因を解消することを目的とした、同和对策事業を推進するとともに、県民が同和問題を正しく認識し、理解を深めて差別をなくすための啓発活動を積極的に推進してきました。しかしながら、いまの世の中においてもなお、同和地区の人々には職業、教育、居住、結婚、交際などの面において、基本的な権利が不当に侵され、市民的自由と権利が不完全にしか保障されていません。このことが同和問題であり、私たち町民みんなの課題でもあります。みんなが同和問題を正しく理解し、その解決を自分自身の問題として認識し、差別や偏見をなくすため、今後は啓発活動の一層の強化を図らなければなりません。

そのため、県や市町村では本年七月を同和問題啓発強調月間と定め、町民のみならずすべてを対象として、各種の啓発行事を計画しています。同和問題の解決を「かけ声」だけに終わらせてはなりません。私たち一人ひとりが自らの生活を、地域社会をみつめ、差別を許さない意識を持ち、みんなが「生きてきてよかった」といえる社会を実現したいものです。

方城町昭和56年度同和問題啓発強調月間行事計画表

実施月日	行事概要	場所	参加者	摘要
七月一日(水曜)	街頭啓発	。役場前 。八幡町原田商 。伊方橋手前 。宝見橋 。高木橋 など	町三役 正副議長 学校長 強化延長事務局 各課長	班編成 (午前七時から) 役場前・八幡町・伊 方橋・宝見橋・高木橋 (午後五時から) 農協・ 新日本編物・マクセル 九州日立マクセル
七月三日(金曜)	社会教育関係団体の研修	中央公民館	婦人会幹部	午後一時から
七月九日(木曜)	社会教育関係団体の研修	中央公民館	青年団	午後八時から
七月十日(金曜)	生徒会研修事業	中央公民館	役場職員 生花、着付、茶道(学級生)	午後一時三〇分から 二回
七月十二日(日曜)	同和問題講演会	飯塚文化センター	分館長、各種団体から 二十名参加	啓発用映画「若ものたちの朝」を上映(午後一時三〇分から) 講師 平野一郎(朝日カルチャーセンター講師)
七月二十日(月曜)	社会教育関係団体の研修	中央公民館	長寿会	講演 午前十時から 映画 午前十時から
七月二十二日(水曜)	高校生の映画の集い	中央公民館	子ども育成会	午後七時三十分から 映画及び解放子ども会の意義などを説明 映画上映 話し合い
七月二十九日(水曜)	同和問題講演会	方城町民体育館	町民	午後一時三〇分から 講師、部落解放同盟中央本部 書記長 上杉佐一郎 懸垂幕七張(役場、公民館、隣保館、パインの新しい、新門の陸橋) 立看板八張(役場、公民館、隣保館、宝見橋、高木橋、ステッカー三角百枚)
その他の啓発				